

『ちけ文&ちけ単 治験に役立つ医学英文事例集

—CRC&CRA として国際共同治験に対応する— 第1版第1刷

正誤表

(2023年1月現在)

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に以下の誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

株式会社 金芳堂

訂正頁	訂正箇所	誤	正
60頁	課題	治験実施計画書に規定されている	治験実施計画書に規定されている
61頁	解答例	Visit3 の臨床検査にて血清トランスアミラーゼ値の異常が認められた。	Visit3 の臨床検査にて血清トランスアミ ラ ナーゼ値の異常が認められた。
61頁	今日の単語／フレーズ	血清トランスアミラーゼ値：a serum transaminase level	血清トランスアミ ラ ナーゼ値：a serum transaminase level
61頁	今日の単語／フレーズ	～値の異常：abnormality in ~ level	～値の異常：abnorm al ity in ~ level
83頁	解答例	After a 2-week interval, the platelet count reduction to 8000 mm ³ (Grade 1) was noted and administration of the study drug was resumed in accordance with the dose reduction criteria. (The study drug was resumed with the dose reduction to 37.5mg/m ² .)	After a 2-week interval, the platelet count was confirmed to recover to 80,000 mm ³ (Grade 1) and administration of the study drug was resumed in accordance with the dose reduction criteria. (The study drug was resumed with the dose reduction to 37.5mg/m ² .)
95頁	上から5行目	intervinously	intravenously
103頁	上から4行目	～と解釈し rule out、exclude、preclude、exclude、dismiss from consideration などと表現します。	～と解釈し rule out、exclude、preclude、 dismiss from consideration などと表現します。 (*重複表現を削除)

103 頁	正解を導くためのポイント	可能性除外された	可能性は除外された
118 頁	困った！	・「規定退院日」はどのように表現するのかな。	・「規定来院日」はどのように表現するのかな。
136 頁	添削例	requested ^③	requested ^②
136 頁	添削例	check ^②	check
146 頁	課題文の下部	—	[課題 4 の続きとして英訳してみましよう] を追加
167 頁	解答例 (英文)	Since erythema, oedema and pruritus were observed on the skin on which the study drug was patched. Restamin Kowa Cream was administered and the study drug was continued.	Since erythema, oedema and pruritus were observed on the skin on which the study drug was patched, Restamin Kowa Cream was administered and the study drug was continued.
188 頁	「中断する」 「中止する」	中断：一旦やめたことを再開する可能性が場合	中断：一旦やめたことを再開する可能性 がある 場合
196 頁	「見つかる」 「認められる」	血清トランスアミラーゼ値	血清トランスアミ ナ ーゼ値
205 頁	「回復する」 「治癒する」	例) 小児科医は小児の川崎病を治療した。 The pediatrician cured the child of Kawasaki disease.	例) 小児科医は小児の川崎病を治療した。 The pediatrician cured the child of Kawasaki disease .
208 頁	「喪失」	epigastoric	epigastric
213 頁	by (~によって、~までに)	血清トランスアミラーゼ値	血清トランスアミ ナ ーゼ値
215 頁	because の使い方	ラクロレチニブ	ラ ロ ト レ ク チニ ブ
222 頁	添削例	was noted ^②	was noted ^③
222 頁	添削例	before administration ^③	before administration ^④
222 頁	添削例	was administered ^④	was administered ^⑤
222 頁	添削例	was initiated ^⑤	was initiated ^⑥
222 頁	添削例	was resolved ^⑥	was resolved ^⑦
222 頁	添削例	was reduced ^⑦	was reduced ^⑧
222 頁	添削例	② 症状が「認められた」ですから find/note を使いましょう。人が主語	③ 症状が「認められた」ですから find/note を使いましょう。人が主語

		の場合は experience を使うことをお勧めします (▶第 3 章「認める」)。	の場合は experience を使うことをお勧めします (▶第 3 章「認める」)。
222 頁	添削例	③ 「投与」は administration など表現できます。	④ 「投与」は administration など表現できます。
222 頁	添削例	④ 入院する行為を表しているので、admit を用いて表現します。	② 入院する行為を表しているので、admit を用いて表現します。
222 頁	添削例	薬+was administered と書ける定番の表現です (▶第 3 章「入院する」「投薬する」)。	⑤ 薬+was administered と書ける定番の表現です (▶第 3 章「入院する」「投薬する」)。
222 頁	添削例	⑤ start でも間違いではありませんが、医学英語では initiate をよく用います (▶第 3 章「開始する」)。	⑥ start でも間違いではありませんが、医学英語では initiate をよく用います (▶第 3 章「開始する」)。
222 頁	添削例	⑥ 患者が主語の場合の回復は recover、病気・症状が主語の場合 resolve を使用するのが一般的です。病気が主語ですので resolve を使用するのがお勧めです (▶第 3 章「回復する/ 治癒する」)。	⑦ 患者が主語の場合の回復は recover、病気・症状が主語の場合 resolve を使用するのが一般的です。病気が主語ですので resolve を使用するのがお勧めです (▶第 3 章「回復する/ 治癒する」)。
222 頁	添削例	⑦ 理由があって減じた場合は「reduce」を使う方がお勧めです (▶第 3 章「低下する/ 減少する」)。	⑧ 理由があって減じた場合は「reduce」を使う方がお勧めです (▶第 3 章「低下する/ 減少する」)。
233 頁	上から 4 行目	ステロイドパルス療法 : steroid pulse therapy	*1 行目と内容重複のため削除